

会議名	第3回厚木市観光振興推進委員会
日時	平成31年3月22日(金)14時～15時40分
場所	厚木市役所第二庁舎11階会議室
出席者	出席者 11人 厚木市観光振興推進委員会委員6人 事務局4人(産業振興部長、観光振興課長、観光振興係長、観光振興課主事) オブザーバー1人(一般社団法人厚木市観光協会専務理事兼事務局長)

会議の経過は次のとおり。

1 開 会 観光振興課長

2 挨拶 観光振興推進委員会委員長

急に春らしくなり、卒業式や入学式などを迎えるワクワクする季節です。最近はやり言葉のようになっていますが「平成最後の」という言葉がよく使われます。観光推進委員も今回が平成最後の委員会です。今の委員で2年を迎えここで任期が終わりとなりますが、各委員に最後に一言ずついただきたいと思います。今年度最後の委員会ということで、30年度事業の振り返りや来年度実施する事業の説明となりますが、厚木の観光についてさまざまな角度から委員の皆さんの意見を伺いたいと思います。

3 案 件

(1) 平成30年度事業の実施報告について 議事進行：委員長 説明：事務局

資料1に基づき説明。

【意見等】

(委員長) 温泉割引クーポン付観光リーフレットの回収枚数が300枚程度の見込みということだが、事務局としてどう捉えているか。

(事務局) パンフレットを2万枚配布した中で使用されたクーポンの枚数が300枚を見込んでおり、回収率にすると約1.5%になる。一般的に配布枚数の1%が使用されるなかで、このクーポンに関しては比較的多くの方に使用されたと感じている。

(委員長) 初日から2日間手配りを行った効果を図るために、今後クーポンの使用日時の調査もできるといいと思う。続けて出前セミナーについてだが、参加した外国人の国籍など内訳はどうなっていたのか。

(事務局) アメリカ人男性、中国人女性、インドネシア人女性の3人となっている。

(委員長) 海外の方は厚木シロコロ・ホルモンを食べることができたのか。

(事務局) 過去にも出前セミナーを実施し、豚漬け、猪鍋などを昼食に提供したことはあるが、厚木シロコロ・ホルモンは、外国人にどういう印象を与えるのか調べるため、今回初めて提供した。外国人の反応は好印象であり、食べることができないということもなくいい結果となった。

(委員長) ぜひ、厚木でシロコロを食べたといういい思い出になってほしい。外国人が苦手そうなホルモンを提供するところに、厚木市のチャレンジ精神を感じた。

(委員長) 各委員から意見等あるか。

(委員) インバウンドセミナーに参加して、日本に初めて来る外国人はまず厚木に来ないこと、何回も来日した外国人が東京、大阪、京都などを行った後に日本の田舎町などに興味が出てコト体験に興味があることを学んだ。モニターツアーではグラスづくり体験などを実施したと聞いたが、厚木市もコト体験を外国人にPRしてはどうか。台湾に行った際に、様々な外国語のパンフレットが置いてあった。また、観光客が行かないような地域に行ったが、地元の人がスマートフォンや筆談などでコミュニケーションが取れた。

(委員長) 日本人も海外の日常の生活などに興味がある。外国人も同じで、日本の日常に興味があると思われる。ツアーとして大規模に組むのは難しいが、少人数での催行は考えられる。外国人モニターツアーでは黄金井酒造にも行かれているがどんな反応であったか。

(オブザーバー) 県西部の観光アドバイザーや厚木基地に住んでいる外国人などが訪問した。歴史ある土蔵造りの壁に興味をととても持ち、その中で日本酒の試飲を行い、熱心に見学をしていた。観光資源として高い関心を持っていただいた。お酒ができる工程の動画やパンフレットも、外国語で表示されており、対応は素晴らしかった。参加した女性の外国人は日本に住んでいる数年より、この2日間でとても日本を知れたとアンケートに回答していた。

(委員長) ぐるなびとのセミナーだが、以前から里のうどんに少し興味を持っていた。日本人は老舗のお店を紹介したりするが、創業は1997年で老舗とはいいがたいうどん屋が外国人観光客を獲得しているという面白い話を聞いたのではないか。おもてなし補助金にも御協力いただいている例などあれば、報告してもらいたい

(委員) 創業200年に合わせて外国人向けにも使えるパンフレットを作らせていただいた。

(委員長) 本厚木駅周辺まちなかガイドについて、何か意見等ないか。

(委員) 海外の様々な地域からきている方が多く、長期で滞在している外国人は母国の料理が食べたくなることもあるため、たくさんのジャンルの飲食店が掲載されているのはいいと思う。また、厚木に住んでいる従業員もいるため、おすすめのお店の紹介などコミュニケーションツールとしても活用している。ホテル協議会は厚木と海老名のホテルが加盟しているため、海老名版もあったらという意見も会議で出ていた。

(委員長) 手に取りやすいポップなデザインで、地図がついていて場所を説明するのにも活用できると思う。今日会議に来るときにも駅員が外国人とスマートフォンでコミュニケーションをとっていた。

(委員) 駅では翻訳機を導入し各駅の改札で活用している。駅員全員を対象に英会話の研修を行っているが、会話するのはなかなか難しいため、翻訳機が活躍している。

(委員長) 翻訳機などのツールがあることにより、恐れずに対応できることはいいことだと思う。糸満フェアについて伺いたいが、厚木の地酒の評判はどうであったか。

(委員) 観光協会ですり飲や販売を行っていただいたが、持参したものは完売であった。厚木市が友好都市を結ぶのをきっかけに、糸満市の酒蔵とコラボレーションを行ってきた。焼酎文化の沖縄ではあまり日本酒の売れ行きはよくないかと思ったが、そうでもなかった。次年度、厚木市の酒蔵として同行しPRできればいいと思う。

(委員長) お酒などの物産を通じて厚木市を知ってもらうのは大事だと思う。厚木では糸満フェアは行わないのか。

(事務局) 厚木市では、鮎まつりや国際大道芸など大きなイベントにおいて、友好都市の物

産ブースを設けている。物産展のみで実施はしていない。

(委員長) 沖縄の食材を買いたいと思っている人は多いと思う。厚木で買う機会があれば市民も市外の人も喜ばれると思うので様々な場所で友好都市の商品を紹介してほしい。

(事務局) 厚木市観光協会で運営しているアンテナショップ「あつまる」では友好都市の物産を取り扱っている。

(委員長) 厚木市観光ガイドブック「あつぎよくばり旅」でこだわったところは。

(オブザーバー) 厚木市の観光全体を伝える冊子がなかったのが、全体像が伝わる内容になっている。また、若い方にも手に取りやすいデザインにした。ポスターも2種類作ったり、観光協会ホームページとリンクしたり工夫をした。3万部のみなので、今後修正増刷等を行い広く配布していく。

(委員長) 飯山白山森林公園桜の広場の構想について進捗は。

(事務局) 飯山白山森林公園周辺を整備するため、地元検討会と調整し基本構想を策定した。飯山観音長谷寺とも協議し、周辺地域を盛り上げるために進めている。通年観光客に来ていただくためにハード面だけでなくソフト面も考慮した計画を立てている。

(委員長) 飯山温泉の入口でもあると思うので、ぜひにぎやかにしていただき地域の活性化を図っていただきたい。

(委員) インバウンドの向けの事業があるが、やはり外国人が行ってみたいところは京都・大阪であり、厚木には来ない。厚木にはたくさんの外国人ビジネス客がいるので、外国人ビジネス客の観光客化を目指すのが有効だと思う。パンフレットを英訳すると文字が小さくなり読みづらくなる。翻訳機も便利であるが、国や人種によっては、やはりしゃべらないと伝わらないこともある。

(委員) 七沢の観光協会という立場から、宮ヶ瀬・大山などを回遊する仕掛けを行っていたが、ゴールデンウィークなどの連休には特別な周遊バスを運行するなど厚木をもっと盛り上げていく仕掛けをしてほしい。伊勢原や相模原にも酒蔵があるので広域的な観光資源として活用してほしい。

(委員長) 大山や宮ヶ瀬などに近いメリットを活かし、厚木の観光の活性化につなげてほしい。

## (2) 平成31年度事業について 議事進行：委員長 説明：事務局

資料2に基づき説明。

### 【意見等】

(委員長) 新規事業の観光プロモーション事業について詳しく伺いたい。

(事務局) 事業の内容としまして大きく3つあり、どれもターゲットを絞ったPRを行うものです。観光PR動画の作成については、短いインパクトのある動画を年間で4本製作し、動画配信を行うものです。小田急電鉄と連携したプロモーションでは駅構内ポスターや中吊り広告など、小田急沿線沿いの方や小田急ポイントカードの会員をターゲットに商業も含めたPRを行う。大山ケーブル駅電光看板設置については、大山に来たハイカーをターゲットに厚木の温泉などの観光資源をPRするものです。

(委員長) 電車に乗っていると吊り広告にとても目が行くので効果的だと思う。小田急との連携は心強い。案件(3)観光振興に係る意見交換についてと併せて今後の事業の意見を

各委員からお願いしたい。

(3) 観光振興に係る意見交換について 議事進行：委員長

【意見等】 31年度事業についての意見と併せて

(委員長) 来年オリンピック・パラリンピックがあり、全国的に外国人の受け入れに力を入れないといけないのではないかと考えているが、集中的に集客できても一過性のものであってはもったいない。オリンピック・パラリンピックの開催で市民の外国人の受け入れに対して意識が向いているのに乗じて、継続していけるインバウンド事業を実施していただきたい。市民の中に外国人が来てほしいと思う人が増えている。厚木だけでなく周辺市町村を引っ張っていただきたい。

(委員) ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックもあるので乗客の増加に向け、積極的に仕掛けている。駅構内において厚木フェアを開催したり、ハロウィンや大道芸などに積極的に参加をしている。厚木だけでなく相模大野、海老名でもイベントに参加し、利用者の獲得に動いている。外国人の利用者も多く、問い合わせで多いのがコインロッカーであり、駅のコインロッカーはほぼ満杯。ぜひ厚木市と協力し解決策を検討していきたい。

(委員長) 箱根では、ホテルに配送するサービスもあるが、厚木では難しい。大きな荷物を持って移動している外国人は気の毒に感じてしまう。

(委員) 趣味でよく旅行に行っているが、厚木に観光客を集める手法として、マニアをターゲットにしてはどうか。酒蔵もあるので日本酒好きのマニアに、厚木だけでなく広域的な仕掛けをしてはどうか。また、SNSなどで映えるスポットを自然のもので発掘してはどうか。

(委員長) 観光客のSNSの発信力は、とても効果的なのでいいと思う。

(委員) 今ある観光資源をいかすのが一番。特に温泉や自然であるが、厚木には様々な企業があるので、工場見学などできたらいいのではないか。また、日本独特の果物狩りも外国人向けにはいいかもしれない。

(委員) 厚木だけでは無理がある。宮ヶ瀬ダムは黒部ダムを抜いて観光来場客が一番になった。先日も民放で飯山温泉から宮ヶ瀬ダムが取り上げられ、盛り上がっている。宮ヶ瀬ダムへの道のりが相模湖方面からの利用者が多いので、小田急や神奈中と協力し周遊パスみたいなものを作ってはどうか。コインロッカーの不足も問題であり、欧米ではスーツケースを預けることのできる大型のコインロッカーが賑わっている。道路整備の問題もあるがレンタサイクルを活用した観光はどうか。

(委員長) 観光客の荷物の問題は解決していきたいので、ぜひ検討してほしい。

(オブザーバー) よくばり旅の表紙にも掲載されているが、飯山白山森林公園内にもみじの名所がある。しかしながら観光客はあまりいない。不動尻にもミツマタが群生しており、見頃を迎えている。見に来ている人もいるがあまり知られていない。観光協会としても、まだ知られていない観光資源を発掘しPRしていきたい。

4 その他 議事進行：委員長 説明：事務局

あつぎ飯山桜まつり開催について案内

5 閉 会 産業振興部長